

# 所 報

(2021.11.1 ~ 11.30)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』758号(2021年12月)

□図書受入

	和書	洋書	計
購入	63	4	67
受贈	31	20	51
合計	94	24	118

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	20日
閲覧者数	16名
貸出図書	5冊

コピーサービス

学外	9件	1,974枚
学内	0件	0枚

日 誌

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続(～30日)
- 2日 環境アーカイブズ地下書庫設置資料保存用資材の納品(東京修復保存センター)  
資料受贈(資料の内容:統計職組関係,寄贈者:岩崎秀子氏,資料の量:段ボール(小)1箱)
- 4日 来所:HOSEIミュージアム(大内兵衛資料の借り出し)
- 9日 社会・労働関係資料センター連絡協議会総会(オンライン,参加:鈴木玲,榎,藤原,中村)
- 10日 所員会議(オンライン)  
事務会議(オンライン)
- 15日 『大原社会問題研究所雑誌』Webサイトのリニューアル公開
- 16日 取材:NHK(産児制限資料について)(オンライン,対応:榎,中村)
- 17日 運営委員会(オンライン)  
議題①2022年度の研究所体制について(次期所長,副所長の承認)

②共同利用・共同研究拠点申請をする熊本学園大学水俣学術センターからの「要望書」の依頼について

③第二期中期経営計画策定に伴う意見聴取について

④その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会(オンライン)

24日 月例研究会(オンライン)

富田義典(佐賀大学名誉教授)「水俣チッソの労使関係——『水俣に生きた労働者』(明石書店)の執筆・編集に関わって」

無産政党資料研究会(オンライン)

渡部亮「無党時代におけるポスト新体制運動——旧社会大衆党勢力の動向を中心に」,研究所叢書の打ち合わせ他

26日 第13回大原社研シネマ・フォーラム オンライン連続上映会

第1回『卵子提供——美談の裏側』(解説:柳原良江(東京電機大学准教授,代理出産を問い直す会代表))(参加者:95名)

27日 大原社会政策研究会(第88回)(オンライン)

掛川直之(東京都立大学人文社会学部助教)「大阪府のとりくみから考える地域再犯防止推進モデル事業」

環境・労働問題研究会 第2期第2回研究会(オンライン)

ゲストスピーカー:宮本憲一(大阪市立大学,滋賀大学名誉教授)「公害と労働災害との関係について——水俣・イタイイタイ病、とくにアスベスト災害を例にして」

29日 戦後失業対策事業研究会ヒアリング(於:全日自労会館,榎他7名)

30日 来所:NHK(産児制限資料の撮影・インタビュー,対応:榎)

大原社会問題研究所雑誌

No.761(2022年3月号)

2022年3月1日発行

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読12,000円(税込)

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042(783)2305

印刷 株式会社相模プリント

# 投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

## 投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

## 投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

### 【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.

